

平和を学び、考え、発信しよう！

ふくやまピース・ラボ事業

2024年度活動報告集



福山市人権平和資料館

## 「ふくやまピース・ラボ」とは？

戦争を知らない若い世代が、福山空襲や原爆について学習し、平和について考え、活動を通して平和へのメッセージを発信することを目的に活動しています。2024年度（令和6年度）で発足から10年目を迎えました。



2015



2016



2017



2018



2019



2020



2021



2022



2023

## 1年間の活動記録

2024年	5月26日（日）	開講式、オリエンテーション ワークショップ「平和をデザインしよう！」 講義「私の平和への取り組み」
	6月 9日（日）	講義「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」
	6月23日（日）	フィールドワーク「市内戦争遺跡巡り」
	7月 7日（日）	講義「福山空襲～8月8日に体験したこと～」
	7月21日（日）	「第70回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に向けて
	8月 5日（月）	「ヒロシマ青少年平和の集い」参加（広島市内）
	8月 8日（木）	「2024市民平和のつどい・第70回市民平和大会」参加 「第70回原爆・福山戦災死没者慰霊式」参列
	8月25日（日）	講義「被爆体験 親子の別れ」
	9月 8日（日）	「ピースウォーク」実施に向けて①
	9月21日（土）	「ピースウォーク」実施に向けて②
	10月 6日（日）	「ピースウォーク」実施に向けて③
	10月20日（日）	「ピースウォーク」実施に向けて④
	11月 4日（月）	「ピースウォーク」実施に向けて⑤
	11月10日（日）	「ピースウォーク」実施
	11月24日（日）	「人権・平和フェスタ in ふくやま 2024」に向けて①
	12月 1日（日）	「人権・平和フェスタ in ふくやま 2024」に向けて②
	12月 7日（土）	「人権・平和フェスタ in ふくやま 2024」に向けて③
	12月 8日（日）	「人権・平和フェスタ in ふくやま 2024」参加
	12月15日（日）	ユニセフ「ハンド・イン・ハンド募金」ボランティア参加
2025年	1月19日（日）	1年間の活動を振り返って「ピースアート2024」の制作①
	2月 9日（日）	1年間の活動を振り返って「ピースアート2024」の制作②
	2月15日（土）	広島中・高校生ピースクラブとの交流
	3月 2日（日）	1年間の活動を振り返って「ピースアート2024」の制作③
	3月16日（日）	修了式



# 活動報告（全24回）

## 第1回（5.26）開講式／オリエンテーション／講義「私の平和への取り組み」



「平和について学び、考え、発信していこう！」と、新メンバーが加わり、ふくやまピース・ラボ10年目の活動がスタートしました！

メンバーそれぞれが、「ふくやまピース・ラボの活動で取り組みたいこと」や「平和のために私たちができること」について考え、発表しました。

■これからの活動で取り組みたいこと

- ・「無関心」をどうやって「関心」に変えていくか考えたい。
- ・日常の幸せや平和について考えたい。
- ・若者に発信する活動をしたい。
- ・SNSを活用し平和について発信したい。

《感想》

- ・福山空襲などを詳しく学んでいきたい。
- ・平和について発信する活動について、特に力を入れて取り組みたい。
- ・これから一緒に活動する仲間の目標や考えを共有できて良かった。
- ・梶原さんの講義を聞いて、「微力だけど無力じゃない」という言葉がすごく印象に残った。この言葉はふくやまピース・ラボの活動だけではなく、日常において大切にしていきたい言葉になった。



▶ 講師：梶原 百恵さん  
（ふくやまピース・ラボ第4期生、第23代高校生平和大使）

## 第2回（6.9）講義「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」



▶ 講師：北村 剛志さん  
（元人権平和資料館副館長）

福山空襲の実相や戦時中の生活の様子（食糧不足、配給、学徒動員、学童集団疎開、服装）などを、当時の写真を用いながら分かりやすく説明していただきました。

《感想》

- ・戦争体験の話をどう残し、広げ、共有していくのが焦点になっていくと思う。
- ・それぞれの違いを理解することが大切だと感じた。日常生活でも少しずつ共感の連鎖を広げていけるように意識したい。

## 第3回（6.23）フィールドワーク「市内戦争遺跡巡り」

福山市人権平和資料館において、福山空襲の概要について説明を受けた後、福山城公園内の現在も残っている戦争遺跡を巡りました。この街で起きた悲惨な空襲のことを学び、感じることができました。

《感想》

- ・現実で起こったことであるとするには信じられないような福山の歴史を知ってとても驚き、もっと知りたくなった。
- ・たくさん学んで、今度は自分が教えられるようになりたい。



## 第4回（7.7）講義「福山空襲～8月8日に体験したこと～」

防空壕へ逃げ込んだ時の様子や翌日の市街地の様子など、福山空襲の体験や戦前、戦中、戦後の暮らしなどについて、話をいただきました。

《感想》

- ・実際に体験した人から聞く話はとても生々しく恐ろしいものだった。歴史の教科書に載っていないことも知れて良かった。
- ・今回で森近さんの講義は2回目だが、昨年にはなかった新しい視点の話や情報を知れたので、機会があるなら何回でも聞くべきだと思った。



▶ 講師：森近 静子さん  
(ふくやまピース・ナビ会員)

## 第5回（7.21）「第70回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に向けて

8月8日（木）17時30分から中央公園で行われる「原爆・福山戦災死没者慰霊式」で、昨年に引き続きふくやまピース・ラボのメンバーが「追悼のことば」を述べることになりました。

当日に向けて、役割分担を行い、メンバーそれぞれが伝えたい平和への思いや願いを込めたメッセージを考えました。

## 第6回（8.5）「ヒロシマ青少年平和の集い」参加

広島市で行われた「ヒロシマ青少年平和の集い」に参加し平和学習を行いました。広島市で活動する、中・高校生ピースクラブのメンバーによる原爆被害の概要説明を受けた後、被爆体験講話を聴講しました。そして、全国から集まった同世代の中・高校生と「あなたの地元では、どんな戦争を経験して、それをどう伝えたいですか。」、「核兵器をなくすために自分たちは何ができますか。」の2つのテーマについてディスカッションを行いました。平和のために学び、行動している同世代の中・高校生の意見を聞き、より深く平和について考えることができました。

午前中は、被爆建物や広島平和記念資料館などを見学し、原爆の恐ろしさ、被爆の惨状を学びました。



## 第7回（8.8）「2024市民平和のつどい・第70回市民平和大会」ボランティア参加 「第70回原爆・福山戦災死没者慰霊式」参列

2024年8月8日、1945年8月8日の「福山空襲」から79年を迎えました。

世界の平和と人権の尊さについて考えることを目的に開催されている「2024市民平和のつどい・第70回市民平和大会」に運営ボランティアとして参加しました。

また、「第70回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に参列し、ふくやまピース・ラボを代表して4人が「追悼のことば」を述べました。

「（前略）私が危惧していることは、戦争・平和に関して『無関心』な人々が増えていくことです。戦後約80年が経過し、戦争というものは私たちにとって身近なものではなくなっています。例えば、学校でも目先のテストや授業に追われ、平和について考える余裕がない同級生がたくさんいるように感じます。でもそれは、『平和』の中にいるからできること。空襲の中にいないからこそできることです。今、私たちのような若者が平和や戦争に関心を持ち、過去の記憶を語り継ぎ発信していくことが必要になっています。記憶のバトンを受け取れず、再び戦争の惨禍を繰り返してしまわないために。」など、メンバーそれぞれの熱い思いをまっすぐ伝えることができました。

その後、折り鶴献納と献花を行い、平和への誓いを新たにしました。





## 第8回（8.25）講義「被爆体験 親子の別れ」

1945年8月6日、広島市で被爆した時の様子や、当時5歳の廣中さんとお父さんの別れについてお話していただきました。

《感想》

- ・実際に体験された話は、当時の悲惨な状況が伝わってきて、自分の感情を重ねて聞いた。
- ・原爆を体験していない人が、これからは伝えていく必要があり、私自身も平和の大切さを伝える1人になれるようにもっと勉強したい。



▶ 講師：廣中 正樹さん  
(広島平和文化センター 被爆体験証言者)

## 第9回・第10回・第11回・第12回・第13回 (9.8 / 9.21 / 10.6 / 10.20 / 11.4)

## 「ピースウォーク」実施に向けて



福山城公園やその周辺に残る戦争遺跡を歩いて巡り、福山空襲などについて理解を深めてもらうことを目的に開催する「ピースウォーク」に向けて準備を行いました。

本番に向け、役割分担を行い、マップの作成や参加記念品づくりなどの準備を進めました。自分が説明する戦争遺跡の説明原稿を考え、事前に戦争遺跡を巡り、当日参加してくださるみなさんにしっかり伝えられるよう練習に取り組みました。

## 第14回（11.10）「ピースウォーク」実施

今年は、15人（うち小・中・高校生5人）の参加がありました。これまで学んできた福山空襲について、参加者のみなさんと戦争遺跡を歩いて巡りながら、メンバー自身が説明をしました。福山に今なお残る戦争遺跡を知ってもらい、平和の大切さについて考えてもらうとともに、私たちの活動についても知ってもらうことができました！

《参加者の感想》

- ・説明がわかりやすく、福山空襲のことを初めて知った。
- ・福山に戦争遺跡があるとは知らなかったの、とてもいい学びになった。学校の人たちにも教えてあげたい。



▼マップの説明

▼福山空襲の概要

▼高野山福山別院

▼福山城石垣

▼福山城天守閣石垣



▼安部和助別邸

▼防空壕跡

▼備後護国神社

▼慰霊碑

▼記念品渡し





## 第15回・第16回・第17回 (11.24/12.1 / 12.7)

## 「人権・平和フェスタ in ふくやま 2024」に向けて



今年も「人権・平和フェスタ in ふくやま」に参加し、ステージ発表と模擬店の出店を行いました。第15回から第17回は、本番に向けて、ステージ発表の練習と模擬店の準備を行いました。

## 第18回 (12.8) 「人権・平和フェスタ in ふくやま 2024」参加

午前中に1階ロビーで『ピースコーン』(ポップコーン)の模擬店を出店し、みんなで協力して『ピースコーン』作りと販売を行いました。多くの方のご協力のおかげで完売した『ピースコーン』の収益金は、「ユニセフ」等に寄付することができました。

そして、10時30分頃からのステージ発表に向けて、本番直前まで練習や確認を行いました。ステージ発表では、絵本『母と子の八月八日ー福山空襲と母子三人像ー』の朗読を、心を込めて行い、戦争の悲惨さや虚しさ、生命の尊厳や平和の大切さを発信しました。



## 第19回 ユニセフ「ハンド・イン・ハンド募金」 (12.15) ボランティア参加

広島県ユニセフ協会の「ハンド・イン・ハンド募金」に参加しました。ユニセフとユニセフ協会は、すべてのこどもたちの命と権利を守るため、最も支援の届きにくいこどもたちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。今、支援を必要とするこどもたちのために、支援を呼びかけました。

皆さんの、たくさんのご協力、ありがとうございました！



## 第20回・第21回・第23回 (2025.1.19/2.9/3.2)

## 1年間の活動を振り返って ～「ピースアート2024」の制作～

私たち「ふくやまピース・ラボ」の1年間の活動の様子を記録した写真と平和へのメッセージ写真を組み合わせピースアートを制作しました。ピースアートのデザインは、メンバーそれぞれが考えたものの中から投票で決定しました。私たちの活動を多くの方に知ってもらおうと、心を込めて制作しました。

完成したピースアートは、今年も「まなびの館ローズコム」のエントランスホールに展示しています。

〈展示期間〉2025年4月1日(火曜日)～5月8日(木曜日)



## 第22回（2.15）広島中・高校生ピースクラブとの交流

8月5日に開催された「ヒロシマ青少年平和の集い」で交流をした広島市で活動する中・高校生ピースクラブのみなさんと、今回は福山市内で交流会を開催しました。

それぞれの活動報告の後、6つのグループに分かれて行ったディスカッションでは、「自分たちが平和のためにできることは何か。どう学んだことや考えたことを伝えるか。」「なぜあなたは平和学習をするのか。」のテーマについて、戦争を知らない若い世代の31人が、自分たちの思いや考えを伝え合い、刺激を受けあいました。

《参加者の意見》

- ・被爆者の声を次世代に伝える。
- ・SNSで世界に発信する。
- ・世界の動きや歴史を学び、何を守るべきか自信をもって平和を語れるようになりたい。
- ・歴史を学ぶだけで終わらず、世界の平和を実現するための行動につなげることが大事だと感じた。

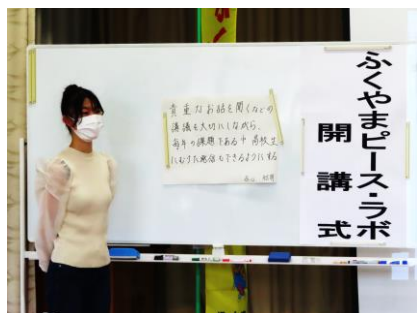


## 第24回（3.16）修了式

福山市人権平和資料館の西岡館長から、メンバー全員に参加証書の授与を行いました。メンバーは活動を終えての感想を発表しました。

《感想》

- ・地元福山をはじめ、日本各地の戦争の歴史について学べて良かった。
- ・今年学んだことを活かして、来年度はさらに活動の幅を広げたい。
- ・わいわい賑やかな雰囲気のメンバーと楽しく活動できた。
- ・自分が平和について活動することで、まずは身近な周りの人に興味を持ってもらえるように来年度も活動に取り組みたい。





# 2024ふくやまピース・ラボの活動を終えて

## 谷口 結萌（高校3年生）

6年間ふくやまピース・ラボに参加し、福山空襲や戦争について多くのことを学びました。日常生活の中で平和について考える機会が減っている今だからこそ、私はふくやまピース・ラボでの学びを通じて過去の出来事を振り返り、常に幸せや平和について考える必要があると感じています。歴史を学ぶことで、私たちの未来に向けた意識を高め、平和の大切さを再認識することができると思います。これからも学び続け、平和の実現に向けて行動していきたいです。

## 永戸 わか（中学校1年生）

私は今年、初めてふくやまピース・ラボに参加しました。参加する前と今とでは、大きく「平和への意識」が変わりました。参加する前は、昔起きていたことについてあまり知らず、平和のために自分が出来ることだけ意識していました。でもふくやまピース・ラボで学ぶ中で、昔起こっていた悲慘なことを知って、平和という言葉を聞くと重みを感じ、自分がしないといけないことがはっきりして、参加して良かったと思えました。

## 株本 海環子（中学校3年生）

私は今年、初めてふくやまピース・ラボに参加させていただきました。私は福山にあった戦争のことについては、福山空襲のことしか知りませんでしたが、遺跡巡りや慰霊式を通して空襲のこと以外も詳しく知ることが出来ました。今年は戦後80年なので、この戦争の歴史を忘れないよう、行動していきたいです。

## 道免 和沙（高校1年生）

私がふくやまピース・ラボに参加しようと思ったきっかけは、福山の戦争や平和活動について、今まで知る機会が無かったため、知りたいと思ったからです。ふくやまピース・ラボの活動では、戦争体験者の方々からお話を聞いたり、同年代の平和活動をしている人達と交流したりと、知識のインプットだけでなく、自分の意見を発信する機会もあったため、より深く学ぶことができました。ピースウォークなどのイベントでは、イベントの運営をしたり、「伝える」ことの難しさを知れました。この一年間で、平和に関して造詣をより深めることができました。

## 松脇 汐音（高校3年生）

今年度も、ピースウォークを行い、自分たちで学んだことを発信する場ができたので良かったと思います。若い世代の人たちにも参加してもらい、福山空襲を継承していくという私たちの目標を達成できました。

## 舟橋 遙香（高校1年生）

去年の10月に加入したばかりで、まだあまり多くの活動はできていませんが、今まで経験したことのない活動に参加させていただくことができ、自分にとって良い一年になりました。特に募金は初めての体験で、自身の行動が誰かのためになっていると感じることができて嬉しかったです。これからも活動に参加して、多くの学びを自分の糧にしていきたいです。

## 吉田 玲衣奈（高校1年生）

今年は広島へ行って、中・高校生ピースクラブと交流したり、ピースウォークで司会進行を担当したりと、「発信する」という面においてたくさんの活動を行うことができました。ピースウォークには、若者がたくさん来てくれたこともあり、とても手応えがありました。しかし、世界ではまだ戦争が続き、核戦争の危機は高まっています。未来のために私たちは何ができるのか、これからも考え続けていきたいです。

## 佃 和佳奈（高校2年生）

今年は私にとって2年目のふくやまピース・ラボ参加でした。福山空襲のことや戦時中の暮らしについて、体験された方から直接お話を聞かせていただけたことは、平和活動に取り組んでいく上での大きな原動力です。また、元ふくやまピース・ラボの先輩方と関わらせていただく機会もあり、若い世代の中でも脈々と活動が繋がっていることを実感します。私もそのような波を広げられるよう、これからも学びと発信を続けていきます。





## 神垣 光甫（中学校3年生）

僕がふくやまピース・ラボの活動をはじめたのは今年で一年目です。もともと歴史が好きで、よく自分から調べたりしていました。そんな時、ふくやまピース・ラボのチラシが目に入り、ここで活動をしようと思いました。ふくやまピース・ラボに入ってから実際に被爆した方や戦災を受けた方の話をたくさん聞きました。それは授業やインターネットで学ぶよりはるかに恐ろしく、当時の情景を鮮明に想像させるものでした。ふくやまピース・ラボの活動を通して戦争の被害について、より詳細を知り、それを多くの人に伝えることができました。

## 永戸 あみ（中学校3年生）

私は、今年で二年目のふくやまピース・ラボの活動でした。同じ被爆体験のお話でも、注目する場面も異なり、耳を傾ける大切さや過去の出来事として聞く事ができる有難さを改めて実感する事ができました。交流をする際も、平和の捉え方は違うとしても、「戦争がない世界」は誰もが思い浮かべる平和の一つだと思います。私は、世界中の人が戦争を恐れる事なく、戦争が過去として刻まれるように、これからも平和活動を続けていきたいです。

## 荒木 香帆（高校1年生）

私は、ふくやまピース・ラボの活動を通じて、「平和は他人事ではない」ということを実感しました。また、11月に行われたピースウォークや、12月に行われたユニセフ募金活動を通じて、平和の実現に向けた取り組みが身近にあること、そして自分たちが主体となって取り組むことの価値を改めて認識することができました。今後も平和を紡ぐ活動に積極的に参加し、より多くの人と平和の大切さを再認識できるように努めたいです。



## 塩出 万陽（中学校2年生）

私は、ふくやまピース・ラボに入ってから2年目で、今までたくさんのことについて学んできましたが、毎回学ぶことが違って新しい知識が増えていきました。戦争は過去のことであって今まで他人事として何も思っていなかったですけど、実際に今この世界でおきていると実感して、自分のできることは何か、みんなができることは何だと改めて考えるようになりました。自分の行動を客観的に見て、本当にその行動はあっているのか考えたいです。

## 吉田 絵玲奈（中学校2年生）

今年でふくやまピース・ラボに参加して二年目になります。去年に引き続き、平和についての勉強をメンバーと共にしました。二年目も参加することで去年では気づけなかったことや、知っていたとしても理解も深まりました。来年も参加して様々なイベントに参加し、平和や戦争について発信していきたいと思います。

## 小川 陽和里（大学2年生）

ふくやまピース・ラボでの活動を通して、どこかフィクションのように感じていた戦争の存在をより身近に思えるようになりました。戦争体験者の減少は抗えない事実であるからこそ、繋いでくださった生きた言葉と想いを、これからの世界を作っていくこどもたちに伝え続けることが、私の大切な役割の一つだと今は強く感じています。貴重な経験をありがとうございました。





Peace begins  
with a smile.

—平和は笑顔から—

発行	2025年3月
編集	福山市まちづくり推進部多様性社会推進課 〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号 TEL (084) 928-1235 FAX (084) 928-1229

